

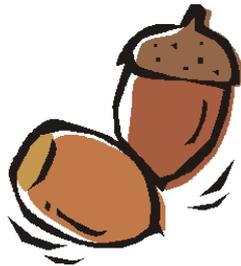
SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



目次

- ☆虫めがね・・・・・・・・・・・・・・・・2
- ☆虫めがね2・・・・・・・・・・・・・・・・3
- ☆クラブ活動報告、実習所報告・・・・4
- ☆高浜まつり感想、ボランティア募集
・・・・・・・・5
- ☆Ryo'sエニグマルーム（クイズ）・・6
- ☆寄付のお礼、スケジュール、
僕の生い立ち（太田連載）・・・・7
- ☆Dormitory Life（小野塚連載）・・・・8
- ☆バリアフリーよもやま話（岡本連載）
・・・・・・・・9
- ☆バリアフリーよもやま話2、夕会便り
・・・・・・・・10
- ☆クイズ解答・・・・・・・・・・・・11
- ☆編集後記・・・・・・・・・・・・12



巻頭文

秋も深まり過ごしやすい季節となりましたね！
この時期は、毎年恒例の「みなと区民まつり」が港区・芝公園で10月11日（土）・12日（日）の2日間行われます。芝公園近くにある増上寺で、私達、風の子会も参加して、来年のカレンダーやアクセサリーや古本など色々な商品を用意して販売します。皆様のご来店を心よりお待ちしております！！皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

幸 高史

虫めがね ～10年後の自分へ～

僕は世界をまたにかける大株式評論家になっていて、忙しくて忙しくてたまらない毎日を送っています。久しぶりに「風の子会」に来たら、職員さんたちが、メンバーの事を持ち上げたりせずに、ボタンを押すだけで僕たちを軽々とロボットが上げているではありませんか。僕は驚いて、仲間に聞いてみました。

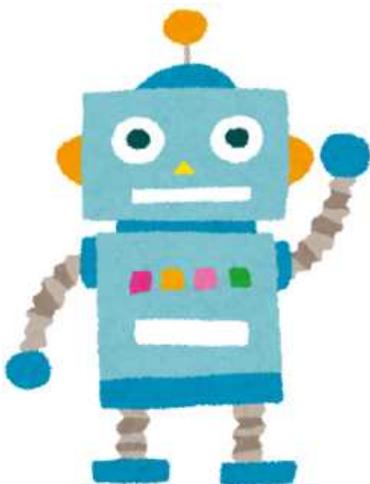
「ロボットさんは言うことを聞いてくれますか」
仲間は、笑いながら言う

「僕は女のロボットを好きになってしまって困っているところですよ」

「ロボットと結婚できるなんて素晴らしい」

僕は十年後こういう社会になったとしても、「風の子会」は必要な存在になるのでないかと思います。

太田 稔



虫めがね2 ～10年後の自分へ～

10年前と今の自分を比べると、体力が激減してしまったことに我が事ながら驚く。それまでは何も考えずにさっとできていたことが、よいしょ、よいしょと必死にふんばり、頭をフル回転させながらできないようになってきている。「どうしてこんなに動けなくなっちゃったんだ！」と歯噛みした時期もあったが、今ではある種の諦念の観と共に自身の体とつきあうようにしている。ただでさえストレスを溜め込みやすい性格なのに、こんな事にとられていては精神がもたないと思ったからだ。体力激減に比例して疲れやすくなってきた。一日が終わると全身が倦怠感に襲われる。それをごまかすため、あるいは今日も一日無事に乗り切った自分への褒美にとビールを4、5缶あける。たかがビール、されどビール。それなりに酔いがまわる。這々の体でベッドに辿り着くと2、3分もたたずに意識は飛ぶ。

こんな自分を10年前の自分が見たらどう思うだろうか。きっと呆れ果てるに違いない。「おいおまえ、なにやってんだよ。もっといろいろうまくやれたはずだろ？」と言われるかもしれない。けれどそんなふうに言われても、何も言い返せないのが今の自分だ。

せめて、10年後の自分を見て呆れないように、今の自分が現状維持できる程度にはふんばっていきたいと思う。

小野塚 航



活動報告

8月の主な出来事を挙げると、暑気払いがあり高浜祭りがあり、プールがあり夏休みがあり、健康診断があった。暑気払いや高浜祭りについては他でも触れられているだろうから、ここではプールについて書こうと思う。風の子の行事としてプールに行くのは今年で3年目だ。メンバーの誰かがプールに行きたいと言った希望に職員が付きあってくれたのだ。芝公園のプールは脱衣所も広くて使いやすいし、プールの水温も温かくて心地よいし、水深も低くて足が着くので楽し、障害者にとってとても楽しめるプールだ。今年には和栗さんも参加して、とても楽しそうだった。松本さんも浮き輪の上におかぷか浮かんで気持ちよさそうだった。田中君は必死に泳いでいた。田村君は風呂につかっているみたいだった。みんなそれぞれにプールを楽しんでいた。職員が応じてくれなかったら、この企画は実現しなかっただろう。そう思うと職員に感謝してやまない。これからもいろんなことを提案していこうと思う。

最後に一つ。プールに浮かびながら、ここはどうしてこんなにおかまが多いのだろうという疑問がずっと解けなかったのが気がかりだ。

小野塚 航

クラブ活動報告

8月30日はクラブ活動をやりました。私は編み物部に入ります。編みを通すのが難しかったです。運動部は芝公園でプールに入りました。プールは風が吹いていて少し寒かったそうです。寿司部は今回は本物カニチャーハンを作りました。少し米が固かったですが食べたそうです。小野塚さんは原稿をやっていました。読書部は太田さんが山本周五郎という作家の本を読んでいました。飯尾さんはパソコン部でハーツというゲームをやってました。次回は9月27日です。



塚田 愛基

高浜まつり感想

今迄（前回）と変わったところが沢山ありました。焼きそばやかき氷・焼きもち等の一入あたりの量が増えたのは嬉しかったのですが、素麺と焼き鳥が無くなっていたのは残念でした。其れと、アルコール飲料が無くなりその代わり清涼飲料水の種類が増えましたが、一種類あたりの本数が少なく開始三十分ほどで在庫が無くなるのもあったのは残念でした。

個人的には好きな食べ物が少なく抽選も五等（最下等）でしたが、それでも十分楽しめた祭りでした。

田村 亮彦



ヒューマンぷらざまつりボランティア募集

10月26日の日曜日、午前10時から午後3時まで浜松町の障害保健福祉センター＝《通称ヒューマンぷらざ》の全館を使ってお祭りが開催されます。それに伴って我が風の子会も毎年出店しています。そこでお願いがあります。販売や食事介助のボランティアを募ろうと思います。18才以上で障害者と触れ合いたい方は当会までご連絡下さい。高校生以上で男女・年齢は問いません、未経験の方も歓迎します。お問い合わせは風の子会までお願いします。

TEL：03-3474-9674
FAX：03-3474-9213



お待ちしております！



Ryo's エニグマルーム

	1				
5		3			
		2			6

かべパズル

与えられたヒント数字をもとに、かべ（黒マスのブロック）をつくりながら島（白マスのブロック）をつくっていくパズルです。数字は同じブロックにおける白マスの数です。黒マスは一続きになり、ニマス以上のかたまりになってはいけません。それぞれの白マスのブロックには一つの数字が必ず含まれ、タテヨコに分断されます。

					×
6		5	4		
10			20	6	
3	4				
	20	6	15		
4			2		

検ロジ

タテ・ヨコの列に1〜N（Nはタテ・ヨコのマスの数）まで数字を一度ずつ使い、ルールに従い盤面に数字をうめていくパズルです。右上に表示されている計算方法で、各ブロック左上に書かれている数字の解答になるように、ブロック内に数字をうめていきます。

寄付のお礼

寄付を下された方

東京神宮ライオンズクラブ 様

本当にどうもありがとうございました。

※8/1～8/31にご入金下さった方



スケジュール

10月11・12日(土・日)・・・区民まつり
15日(水)・・・運営委員会
26日(日)・・・ヒューマンぷらざ祭り



僕達ののために弟が用意してくれたギターで、演奏会が始まりました。それを六時頃まで続けてくれたのです。それから六時半過ぎ、二次会が始まりました。

とところがこの二次会、ほとんどが僕達の結婚式に出席してくれた人たちばかりですから、にぎやかなこと、おびただしい。かえって二次会の方が人数が多いくらい。なんと十一時過ぎまで。

太田 稔

僕の生い立ち
第三十三話

わたるのドミトリーライフ

【ドミトリーとは英語の dormitory つまり寮という意味】

第66話 落ちる（中編）

屋上バーベキューはにぎやかに続いていた。肉を焼き、食べてはビールを飲み、ラジカセに合わせて歌い踊り、午後の陽射しを受けながら時間がゆっくりと過ぎていった。屋上に上がる階段口、塔屋の上に8畳くらいのスペースがある。階段口の脇に置かれている、使われなくなった洗濯機を足場にして、キイチやタクが塔屋の上にかかる。「すっげー眺め！」「神になった気分」「ぐわあーはっはっは！」上半身裸の男たちが、屋上のさらに高いところで威勢よく吠えている。

「俺も、ちょっとあがってみたくなった」よろよろと歩きながら洗濯機まで辿り着き、ヒロセやキイチの手を借りて洗濯機の上に立ち、そこからさらに塔屋のへりに手を伸ばし、上にいるキイチとタクにひっぱりあげてもらおう「よいしょっと」。塔屋の上は、屋上からさらに2メートルくらいの高さがあり、そこからの眺めはさらに爽快だ。

「ヅカシ大丈夫？」トモがひょいと僕の隣に上がってくる。塔屋のへりにまたがり、右半身が宙に浮いたような状態になっている僕のことが気になって上がってきたのだ。「いい見晴らしじゃなか。こんな経験、今までなかなかできなかったし」右足をプラプラと揺らしながら、気分が少し浮ついてきている。「落ちないでね」「わかってるって」言いながらももう一度見回してみる。住宅地が見え、学部棟が見え、森が見え、そして正面にはトモがいる。陽射しが柔らかく、風が心地よく、体がふわっと浮いている気がした。

6年目も順調に進んでいる。アパート暮らしも何とかうまくこなせている。後輩ともこうして遊んでいるし、何より卒業というものがようやく具体的に見えてきた。その先のことはまだ見えない。今はただ、卒業に向けて必死に取り組むだけだ。風に揺られながら、ふとそんな満足感にとらわれていた。

「あ」不意に上半身が大きく右に傾き、そのまま下へと落ちる。ドスンという鈍い音とともに屋上に落ちた僕は、体のあちこちに激しい痛みを感じていた。「ヅカシ！！」あわてて下りてきたトモとそばにいたキイチがかけつける。少し離れたところでヒロセがよるけている。痛みの箇所が腰と足だけで、頭は打っていないようだ。けれど2メートル以上の高さから落ちたのだ。どこか折れているかもしれない。「ヅカシ！ ヅカシ？」「むやみに触れない方がいい」「救急車！」呻くことしかできない僕を前に、事態は徐々に深刻な状況へとうつっている。

しばらくして救急車が到着する。トモとキイチがざっと経緯を説明している間に救急隊員が僕を担架にぐるぐる巻きにする。打撲の痛みと担架に縛られた圧迫感に息苦しさを覚えながら、救急隊員に担がれて階段を下りる。とりあえず意識はしっかりしている。痛みはあるが耐えられる痛みだ。折れているならもっと尋常ではない痛みがあるはずだ。

「大丈夫。大丈夫だ」自分に言い聞かせるように呟きながら救急車に乗る。

～ 第67話へつづく ～



この「風の子便り」の題字には、大きく「SSKS」と書かれています。いったいなんだろう、と思われた方もおられると思います。実はこれは障害者団体の会報などを安く送れる仕組みを使っていることを示しているのです。「SSK」は障害者団体刊行物協会（以下、障定協と書きます）の前身の「身体障害者団体定期刊行物協会」の頭文字で、最後の「S」は障定協から指定された記号です。

郵便には、普通の郵便のほかに、雑誌など定期刊行物の「第三種郵便」、通信教育・点字・学術誌・植物の種子などの「第四種郵便」があります（点字は無料です）。ただし、第三種郵便の認可を受けるには、年4回以上発行、1回の発行部数500部以上、8割以上が有料販売されていること、さらに広告にかなりの制限があること、

毎年1回定期調査が行われることなど、小さな障害者団体にとっては厳しい条件があります。

昔は第五種郵便というのもあり、第三種郵便の条件を満足できない障害者団体の会報などは少し割引で郵送できました。ところが1966年、郵便料金大幅値上げと第五種郵便廃止が発表され、障害者団体の中には発行ができなくなるところも出てきました。そこで、障害者文芸同人誌「しのめ」（当会の花田会長が主宰）の二日市安さんと花田さんたちが立ち上がり、国との交渉が始められました。そのとき「身体障害者団体定期刊行物協会（現在の障定協）」が作られたのです。そして、当時の厚生省社会局の計らいもあって、小さな障害者団体でもいくつか集まって一つの団体として条件を満たせば第三種郵便を認可するという合意が1971年にできました。さらに1976年、第三種郵便の中に、障害者団体発行のものを安くする「低料第三種郵便」が作られました。粘り強い交渉の過程では当時の官房長官への“直訴”も行われたそうです。歴史に残る素晴らしい業績です。

その後各地に障定協に倣った団体ができました。「北海道身体障害者団体定期刊行物協会（HSK）」、「関西障害者定期刊行物協会（KSK）」、「九州身体障害者定期刊行物協会（QSK）」などで、現在23協会（加盟団体1、500以上）があります。2000年には各協会が結集して「全国障害者団体定期刊行物協会連合会」ができました。

風の子会は1999年に障定協に加入しました。「風の子便り」をさらによく見るとページの上には「1995年8月10日第三種郵便認可、〇〇年〇月〇日発行SSKS増刊通巻第〇〇号風の子便り」、最後のページには「発行人：障害者団体刊行物協会」とあります。「1995年8月10日」は障定協がSSKSの第三種郵便認可を得た日付、増刊通巻第〇〇号は、「風の子便り」を発行するたびに障定協に電話して、「今回は〇〇番です」と教えてもらう番号です。ほかの団体も一緒にした連続番号なので、たとえば通巻第6162号などと大きな数字になっているのです。増刊というのは障定協が登録した発行日とは異なる日に発行する、という意味です。障定協には入会金と発行部数などに応じた会費を払っています。

つづく →→→

→→→つづき

この制度のおかげで、「風の子会便り」は1部8円の送料でお届けすることができます。ただ、広告に関する規定から、自分のところの商品以外は宣伝できないので、たとえば「きょうされん」の商品カタログなどを同封することができません。（しかたなく、普通料金で別送しています）。また、郵便局の担当者にもこの制度を良く知らない人がいて、間違っ普通第三種郵便の料金を取られてしまったこともあります。

ところで、この低料第三種郵便の制度を悪用して、福祉とは無関係の団体が、障害者団体であるという偽の証明書を取って、ダイレクトメールなどを安く送っていた事件があったのをご存知の方も多いと思います。多くの人の尽力で築き上げた厚生労働省との信頼関係のもとに運用されているこの制度を悪用するなんて、まったく許されることはありません。これによって第三種郵便の審査が一層厳しくなりました。障定協などに入っている、個々の障害者団体への条件確認が行われるようになったのです。このため、ふたたび会報などを発行できなくなった団体が出てきました。現在、総務省、厚生労働省、郵便事業会社、障害者団体で四者協議を重ねていますが、難しい協議が続いています。いずれにしても少ない資金、労力で頑張っている小さな障害者団体にとって大切な情報発信が損なわれることが無いように、柔軟な制度・運営がなされるように強く望みたいですね。

夕会便り



八月二日[旅行のキャッチコピー&レイアウトについて]

九月六日(土)・七日(日)の泊旅行での、キャッチコピーを決めました。「色々な魚に会いましょう」や「勝浦温泉グルメ旅」などの意見が出ました。その結果「え？風の子って旅行に行くの？」に決まりました。その次に、九月五日(金)にメンバー用のロッカーや棚などが届くため、風工房のレイアウトを変更することになり、皆で使いやすくするような意見を出してもらいました。ですが、時間がなくなってきたので、決めることまで出来ませんでした。

八月九日[メンバーの退所について]

右田磨子さんが風の子会を退所され、風の子会として皆で寄せ書きを書いて送ることになりました。

八月二十三日[第三テントについて]

今年も、みなと区民祭りで利用をするテントについて話し合いをしました。前は「くじ引きコーナー」でした。今年はバザー品を売ることになりました。

田中 聡



クイズ解答

	1			
5		3		
		2		6

かべパズル

与えられたヒント数字をもとに、かべ（黒マスのブロック）をつくりながら島（白マスのブロック）を作っていくパズルです。数字は同じブロックにおける白マスの数です。黒マスは一続きになり、 2×2 マスの上のかたまりになってはいけません。それぞれの白マスのブロックには一つの数字が必ず含まれ、タテヨコに分断されません。

2	3	5	1	4
5	2	1	4	3
3	1	4	5	2
1	4	2	3	5
4	5	3	2	1

検ロジ

タテ・ヨコの列に1～N（Nはタテ・ヨコのマスの数）まで数字を一度ずつ使い、ルールに従い盤面に数字をうめていくパズルです。右上に表示されている計算方法で、各ブロック左上に書かれている数字の解答になるように、ブロック内に数字をうめていきます。

編集後記

皆さん暑い中、熱中症等が多発していましたが、水分等こまめに摂取して暑い夏を乗り切れましたか？ニュースでは熱中症死亡者を伝える内容が後を経ちませんでした。しかし夏は悪い事ばかりではありません。プールに一夏の恋にキャンプに夏祭りです。

私は小さい頃から家を空けて知らない人とキャンプに行くのが好きです。それは今まで知らなかったことに出会えるからです。皆さんもキャンプに参加してみては？



塚田 愛基

歯医者さんの帰りに、皇居の北の丸公園に散歩に行った。さすがに普通の日だけあって、歩く道には誰も見えない。遠くのお堀の向こうに、人が二、三人いるのが見えるだけ。人がいないのは寂しいけれど、人影の無い空間を独り

占めしたような気分になるのも、たまにはよいものだと思った。

太田 圭子



きょうされん大会で横浜に行った。とても良かった。しゅうまい弁当うまかった。

松本 恵司



ひとりぼっちの障害者をなくそう
特定非営利活動法人・風の子会
～定価40円～

企画
和幸右松田佐太石
栗 田本村久田神
頭 間
太高磨恵亮 一バ
郎史子司彦庸稔郎

吉柳三塚田小太
田川木田中野田
塚

久敬直愛 圭
代事人基聡航子

編集人：【高浜生活実習所】
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075
東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階
TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧6-26-21

